

ミヤマクワガタ

オスは 42mm～63mm、メスは 25mm～43mm ほどの大きさになります。

頭部の出っ張りと、体表に金色～褐色の毛が生えていることが特徴です。

涼しい環境を好むため、主に標高の高い山地の落葉樹林に生息しています。

成虫が見られるのは、7月～8月ころまでです。夜行性ですが昼間にも活動し、クヌギやコナラなどの樹液に集まります。

メスは交尾後、立枯れた木の近くの腐葉土に産卵します。孵化（ふか）した幼虫は、その腐葉土を食べて成長し、その年に成虫になり越冬します。翌年の夏に活動を始めますが、2、3ヶ月で死んでしまいます。



富士市の現状

愛鷹山の山際から標高 1,500m 付近までで確認されました。かつてより減少していると考えられます。

ミヤマクワガタを確認したメッシュ

